

取扱説明書

はじめにお読みください

RV RUN の特徴

- 姿勢保持機能付き（スリングシート張り調整式）
- 無段階ティルティング機構（0°～45°）
- 座面奥行き・フットレスト高さ調整式
- 押し手高さ調整式
- 駆動輪キャンバー角（5°）
- 高圧タイヤ使用
- 軽量・コンパクトタイプ

RV RUNを快適にお使いいただくための大切な内容が記載されています。お使いになる前によくお読みいただき、また必要なときにはいつでも見ることができるよう大切に保管して下さい。

販売会社名・連絡先

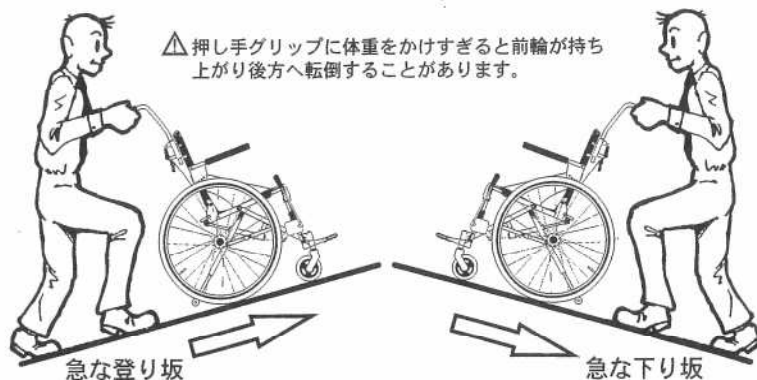
発 売 元 **（株）きさく工房**
 フレーム製造元 株式会社 **カワムラサイクル**

福岡県粕屋郡宇美町大字宇美2454-72 TEL(092)932-7600
 神戸市西区上新地3-9-1 TEL(078)969-2800

お手入れ・メンテナンス

- 可動部分の動きが悪くなった場合には、その部分の汚れをきれいに取り除き、潤滑油等を適量して下さい。
- シートを洗うときは、マジックテープをすべて相手側に接着した状態で、きれいに折り畳み、軽く押し洗いか洗濯ネットに入れるなどして、生地を傷めにくい方法で洗って下さい。洗ったあとは、すみやかに陰干しして乾燥させてください。クッション部の手しぼりは避け、脱水機で脱水して下さい。長時間の脱水はお避けください。
- フレームは、直接水をかけて洗わないでください。また、フレームの汚れを落とす場合は、中性洗剤をお使いください。フレーム塗装部分をたわしなどで強くこすると傷が付き、塗装が剥がれることがあります。
- 調整や修理などはまずお買い上げの取り扱い店にご相談ください。

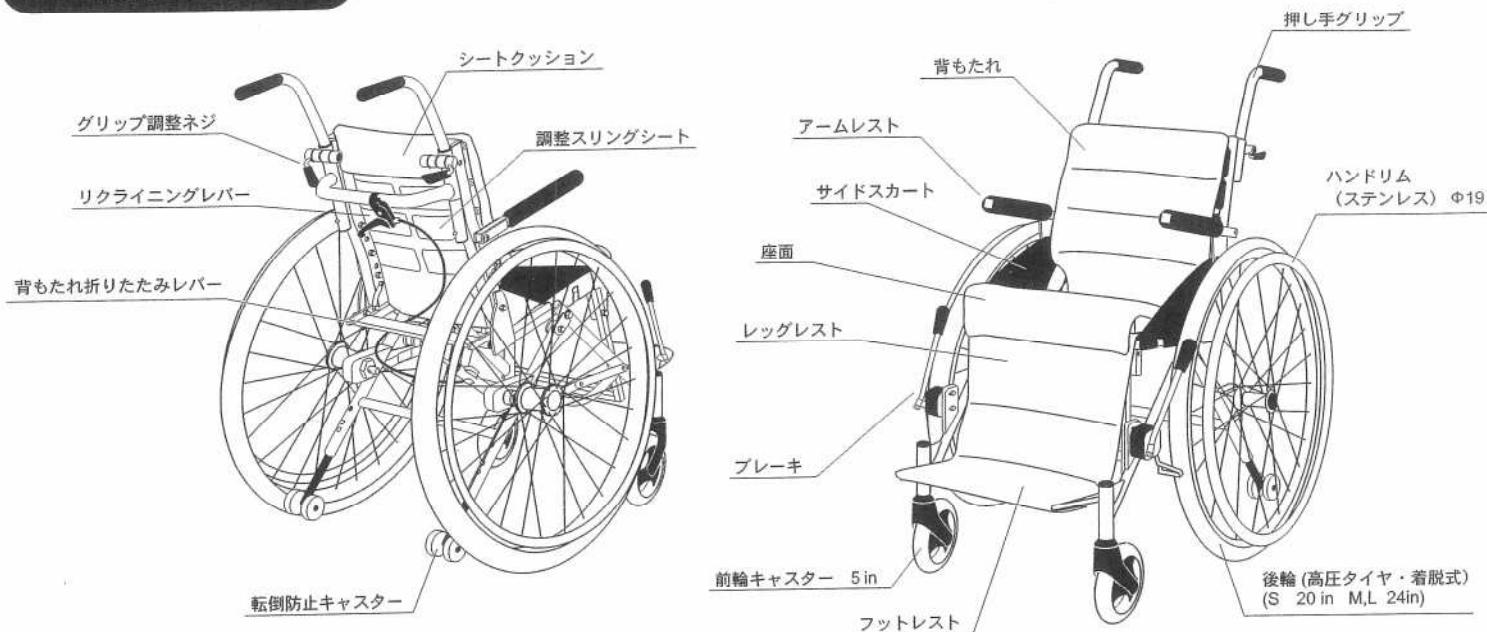
車椅子の取り扱い



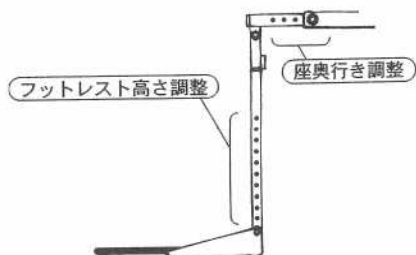
段差を乗り越える場合は、裏面の「転倒防止キャスターの取り扱い」に従い、十分に注意して行って下さい。転倒防止キャスターを接地させたまま、前輪ならびに駆動輪を床面から浮かせたりしないで下さい。

急な坂道の登り降りでは、車いすの操作を特に慎重におこなって下さい。登るときは前向きで、下るときは後ろ向きで操作してください。とくに、下るときに前向きだと、前方へ転倒したりスピードが出過ぎて止まらなくなったりする恐れがあります。

各部の名称



各部の取扱い



座の奥行きと足台の調整

ネジを差し換えることで、乗る方の大腿長と下腿長の長さにあわせて調節ができます。

グリップ固定レバー



グリップ固定レバー

自由な高さ、方向でグリップを固定できます。

①のネジで締め具合を調整し、②のレバーで締め込みます。①の締め方が弱いと②の締め込みが効かない場合があります。移動中に緩むことがないようにしっかりと締めして下さい。

リクライニングレバー

背もたれの後ろ側にあるレバーを握るとロックが解除され自由な位置でリクライニング角度を設定することができます。レバーをはなすとその角度で固定できます。

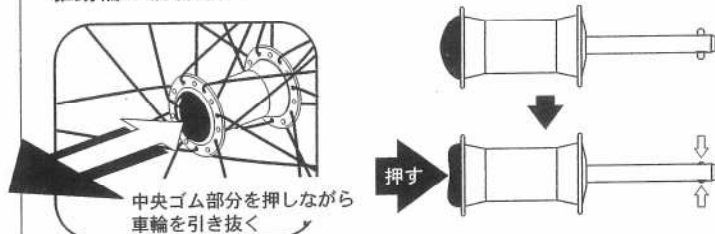
⚠ リクライニングレバーのあそびが多くなってきたらワイヤーの張り調整を行って下さい。

⚠ 角度を変える時は、必ず両手で操作を行って下さい。乗っている方の重さで急にリクライニングすることがあります。

ブレーキ

ブレーキレバーは、「前方に倒す」または「後方に引く」の両方向でロックがかかります。ブレーキレバーが真中（中心）にある状態がロック解除になります。

駆動輪の脱着方法



○はずし方…車輪の中央にある青い部分を押し込んだまま、車軸に沿って外側へまっすぐ抜き取って下さい。

(◎きちんと奥まで差し込まないと、走行中に車輪が外れることがあり大変危険ですので、しっかり取り付けられているのを確認してください)

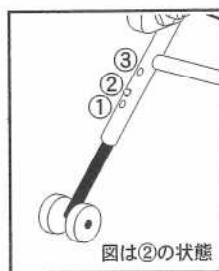
○取り付け方…車輪中央の青い部分を押し込んだまま、車軸に沿ってまっすぐに差し込んで下さい。

(◎抜き取る方向を車軸からまっすぐにしないと、はずれにくくなります)

⚠ 駆動輪について

- 高圧タイヤを使用しています。(空気圧の目安は 7kg/cm² です)
- 定期的に空気圧をチェックして下さい。空気圧が低いと、走行性が低下するだけにとどまらず、パンク等の原因となりますので、御注意ください。

転倒防止キャスターについて



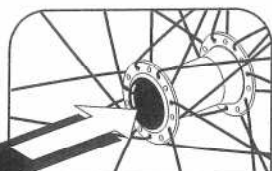
転倒防止キャスターは、使用場面に応じて設定して下さい。介助者が操作をしない自力走行のみの場合には、①の状態に設定して下さい。介助者の操作を伴う場合は、②の状態に設定して下さい。歩道の縁石程度の高さを、前輪キャスターが乗り越えるぐらいの高さまで車体を傾けられます。介助者操作で悪路を走行するときには、③に設定して下さい。

折りたたみ方



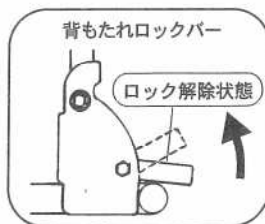
坂道など不安定な場所では作業をおこなわないで下さい。

1



中央ゴム部分を押しなが
らまっすぐに車輪を引き抜く

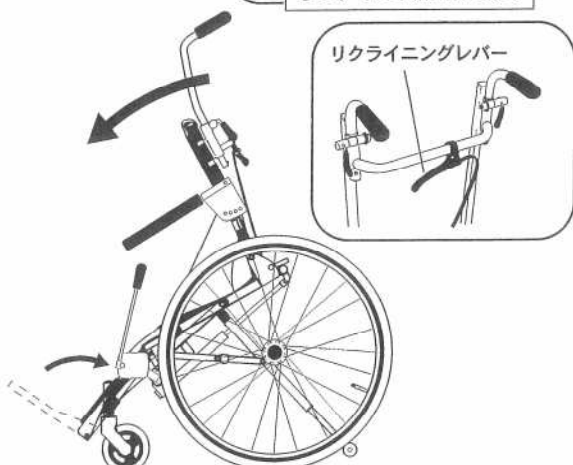
2



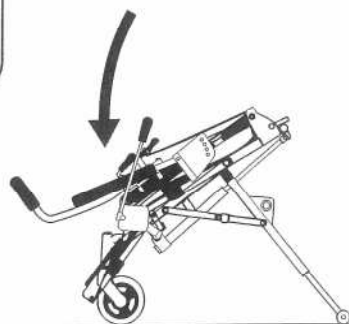
背もたれロックバー

ロック解除状態

3



リクライニングレバー



車輪を抜き取ってください。

△このときブレーキを解除してから車輪を引き抜いてください。(ブレーキが効いた状態では、本体から車軸が抜けません。)

つぎに、フットレストを折りたたんでください。リクライニングレバーを握り、止まる
ところまでリクライニングを起こします。

(座面・レグレストがほぼ一直線になり前足フレームの内側に平行に重なります。)

背もたれロックバーをうえに上げ、背もたれを前方に折りたたみます。

(このとき、スカートガードを内側に折り込んでください。)

座面後方の丸パイプを持ち上げて足を折りたたんでください。

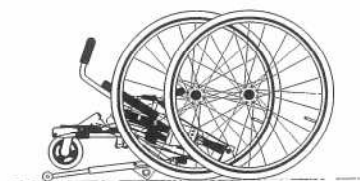
△各部分が連動して動きますので手や足をはさまないように注意してください。
(前後足連結バーには特にご注意ください。)

開き方



坂道など不安定な場所では作業をおこなわないで下さい。

1



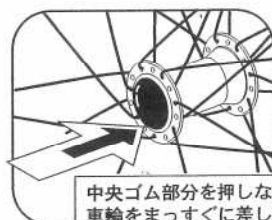
この状態から...

2

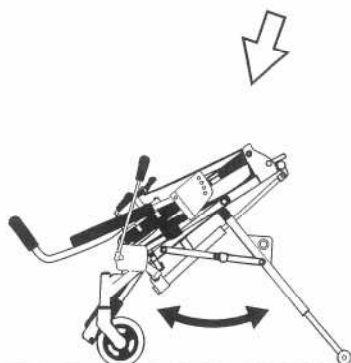


リクライニングレバー

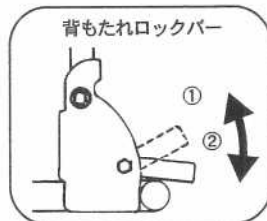
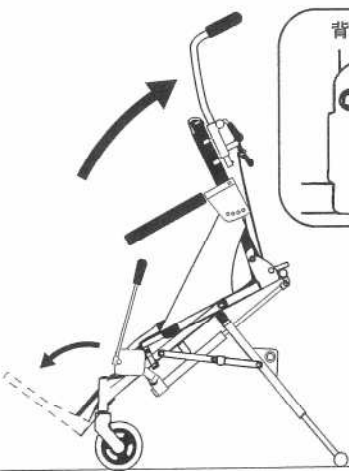
3



中央ゴム部分を押しなが
ら車輪をまっすぐに差し込む



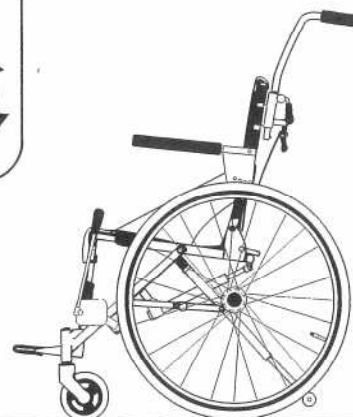
足を前後に開いてください。



背もたれロックバー

①

②



背もたれを起こしてください。

△1,2の作業中は前後足連結バーはまだロックされていません。この状態で車椅子を持ち上げると前後の足が折り畳まれます。手や足を挟まないように注意してください。

リクライニングレバーを握り適切な角度にセッティングしてください。レグレストを下げ、フットレストを開いてください。

最後に車輪を取り付けます。



絶対にしないでください **禁止事項**



乗せたままの放置



子供の取扱い



坂道での駐車



椅子以外の用途での使用



勝手な改造



処方された方以外での使用
(補装具の制度で製作した場合)



処方を無視した使用
(補装具の制度で製作した場合)



こわれた状態での使用



からだに合わない状態での使用



注意してください



おりたたみ組み立ての作業をするとき
おりたたみ・組み立てのとき各部が運動して動きます。
指などを挟まないよう注意して操作を行ってください。
まわりにお子様がないかも注意してください。



水にぬれたとき
水にぬれたままにしておくと部品に錆びが出る場合があります。
濡れた場合には乾いた布ですみやかに拭き
とってください。水中での使用は絶対にしないでください。



整備不良
タイヤの空気不足やねじのゆるみなどは思わぬ事故に
つながることがあります。定期的に不具合がないか
確かめてください。



悪路や坂道での走行
悪路や坂道では特に注意して操作してください。バランスを
くずして転倒することがあります。段差のある下り坂では
後車輪を下にして後ろ向きに降りてください。



乱暴な取扱い
走ったり、ゆすったりといった乱暴な取扱いはしないでく
ださい。フレームが破損したり、転倒して乗っている方が
けがをしたりするかもしれません。



点検を受けて下さい
定期的に処方者・取扱店のチェックを受けるようにして
ください。「なにかおかしいな」と感じたらすぐに処方者
までお知らせください。

一般的な注意事項

- 異常に高温な場所（車中など）に製品を放置しないで下さい。フレームが痛むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり高温になったシートに座することで体調に悪影響を与えることがあります。
- 製品を落としたり、踏んだり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないで下さい。フレームが破損することがあります。
- タイヤの空気圧のめやすは7kg/cmです。キャスターやタイヤなどは消耗部品です。磨耗・亀裂・パンクなどの場合にはすみやかに修理・交換してください。
- 本書に記載されていない操作、使い方はしないで下さい。

調節スリングシートについて

使用される方の身体特性に個別に対応し、後方ティルティングしたシートにゆったりと体をあずけていられるように、背・座のシート張り調整を行うことを目的としたものです。

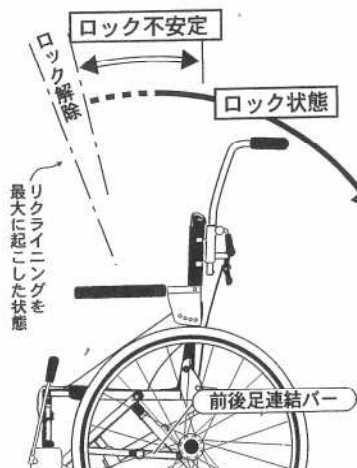
骨盤が前方に滑り出しにくくなるよう、また体幹部を背もたれにゆったりあずけていられるように（前方に押し出されないように）調整します。

長期間使用するうちにスリングシートのたるみが生じることがあります。このようなときはシートの張り具合を再度調整して下さい。



前後足連結バーのロックについて **重要**

△ RVRUNは前傾位では絶対に使用しないでください。



RVRUNは、リクライニング角度に連動して、前後足連結バーがロック/ロック解除されます。（図参照）組み立て・折りたたみのとき、リクライニングを最大に起こした時点で前後連結バーのロックが解除された状態になっていますので、不意に折りたたまれないように注意して組み立て折りたたみの作業をして下さい。図のように背フレームがやや前傾位から後傾全般にわたって確実にロックされるようになっていますが、安全のためリクライニング角度は垂直位から後傾位で使用して下さい。前傾位ではロックが不安定で路面の凹凸や前方からの前輪キャスターへの外力でフレームが折りたたまれる事があります。

➡ 張る
➡ ゆるめる

座面は臀部（座骨周辺）をゆるめてお尻を包み込むようにし、座骨前方から大腿部はピンと張って臀部を安定させ、前滑りを起きにくくするのが一般的です。

